

# 漁業者との約束守れ

## ふくしま復興共同センターが宣伝



汚染水の海洋放出撤回、中止を訴える参加者＝24日、福島市

ふくしま復興共同センターは、東京電力福

島第1原発の汚染水（アルプス処理水）の海洋放出が開始される直前の24日正午、福島市のJR福島駅前通りで、抗議と撤回・中止を求める宣伝を行いました。

野木茂雄代表委員（県労連議長）は「漁業者の反対の声を無視し、福島県民や国民の合意がないまま海洋放出を強行すること」に強く抗議する。海洋放出の撤回、中止を求め

る「と力を込めました。野木氏は「漁業者は海洋放出に引き続き反対し、『関係者の理解なしに、いかなる処分も行わない』という約束を守れと求めている」と述べ、「この約束を当事者である国や東電自身が破ったことは絶対に許されない」と強調。海洋放出は12年余の復興の努力を台無しにすると批判しました。

スピーチした女性は「岸田首相は理解を求めただけで、理解が得られたわけではない。政府は漁業者をはじめ県民、国民の声を聞き、海洋放出の中止を」と発言。汚染水問題に取り組んできた青年組織「マップ」の女性には「いま海に流せば、将来の長期にわたる大きな問題をまた一つ増やすことになる。県民の不安や反対の声を聞くべきだ」と訴えました。

### 海洋放出に各団体が抗議

被害の拡大を  
もたらす愚挙  
ひたれんぞ

原発事故被害者団体連絡会(ひたれんぞ)などの団体は24日、福島第一原発の汚染水(アルプス処理水)の海洋放出決定を「歴史的愚挙」として撤回を求める共同抗議声明を発表しました。

声明では、「原発事故で回復不能な被害を与えたとはいえ、さらに被害の拡大をもたらす愚挙に私たち被害者は腹の底からの怒りを込めて抗議し、決定の撤回を求める」と訴えています。

また、海洋放出ありきで突き進んできた政府の姿勢は「GX東電

法案「強行」ともた「歴史に残る愚挙」と断じざるを得ない」と批判。「原発事故から12年、未(いま)だ被害の渦中に苦しむ私たち原発事故被害者は、新たな被害を生み出すなためだ(新たな障を運ぶよう)強(こ)く求め」と述べています。

汚染水発生量  
抜本的削減を

地研研  
地学団体研究会(地研)は20日に開いた総会で、東京電力福島第一原発の汚染水(アルプス処理水)海洋放出の進行に反対し、汚染水発生量の抜本的な削減を求める声明を発表しました。

地研研の福島第一原

「た」と指摘しています。

また、政府が「日本学術会議の在り方に關する有識者懇談会」を設け、学術会議の独立法人化も含めて検討する方針を示していることに対しても、声明で反対を表明。政府の人権による非公開の懇談会ではなく、学術会議が求めている「開かれた協議の場」を設けるよう、政府に求めています。

新たな国民負担  
ただちに中止を  
消費税なくすか

消費税をなくす全国  
の会は24日、岸田文雄首相が東京電力福島第一原発から出る汚染水(アルプス処理水)の海洋放出を決定したこと  
に抗議し、ただちに中止するよう求める前  
沢敏子事務局長の声明  
を発表しました。

政府・東電と地元漁  
業者の約束を破りまし  
た決定であり「汚染水  
処理経費は当初の予算  
より増額され、新たな  
国庫負担となる」と批  
判。「消費税停止」当  
面5%への減税「税金  
の無駄づかいを止め  
よ」と活動する会とし  
て「これ以上の国庫負  
担増にならぬこと」は許せ  
ません」としています。

現在と未来に  
深い悔恨残す  
新日本婦人の会  
新日本婦人の会は24  
日、東京電力福島第一

原発からの汚染水(アルプス処理水)の海洋放出開始に抗議し、ただちに中止するよう求める文書を岸田文雄首相と小早川智明環境社長に送付しました。

現在と未来に深い禍根を残すものであり、政府と東電の思い約束を破りつけた進行は「地元漁業者が積み重ねてきた努力を白無にするもの」と批判。増え続ける汚染水を止めるための真に適切な根本対策をとるよう強く求めています。